

# 平成 26 年度福井県計画に関する 事後評価

平成 2 8 年 8 月  
福井県

### 3. 事業の実施状況

平成26年度福井県計画に規定した事業について、平成26年度計画終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	1. 医療機能の分化・連携に関する事業	
事業名	【NO. 1】 地域包括ケア病院整備事業	【総事業費】 2,470,524 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井区域、奥越区域、嶺南区域	
事業の期間	平成 26 年 12 月～平成 29 年 3 月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	回復期を担う病床の整備 H28：118 床 在宅医療利用者数 H24：4,000 人 → H29：4,800 人	
事業の達成状況	回復期を担う病床の整備 H27:41 床 在宅医療利用者数 H26：4,426 人 → H27:4,774 人	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 福井大学医学部附属病院や県立病院等の急性期を経過した回復期の患者を受け入れるための病棟整備や、療養病床等の削減と在宅療養患者の急変時の受入れ体制の整備が一定程度進んだ。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 病院の建替えに併せ、効率よく回復期病棟等の整備を進めることができた。</p>	
その他	病床の転換にあたり、1床あたりの補助単価（建替えの場合 67 万円/1床）を医療機関に示したため、各病院が転換に係るシミュレーションを行うことが可能となった。	

事業の区分	1. 医療機能の分化・連携に関する事業	
事業名	【NO. 2】 地域医療連携システム構築事業	【総事業費】 216,155 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井区域、奥越区域、丹南区域、嶺南区域	
事業の期間	平成 26 年 12 月～平成 28 年 3 月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	地域医療連携システムに参加する機関 情報開示病院 H25：14 機関 → H27：15 機関 閲覧医療機関 H25：170 機関 → H27：300 機関 地域医療連携システムへの患者登録数 H26.9 3,000 人→20,000 人 (H29)	
事業の達成状況	地域医療連携システムに参加する機関 情報開示病院 H25：14 機関 → H27：15 機関 閲覧機関 H25：170 機関 → H27：204 機関 地域医療連携システムへの患者登録数 H28.3 9,282 人	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 病院、診療所、薬局が診療情報に関する情報を共有する「ふくいメディカルネット」の参加者が拡大したことにより、急性期から回復期、さらには慢性期、在宅医療まで切れ目なく支える体制が充実した。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 厚生労働省電子的診療情報交換推進事業（SS-MIX：Standardized Structured Medical Information eXchange）の規約を活用し、福井県内の医療機関は一つのシステムでネットワークを構築している。また、福井県医師会において一括して機器を調達したことにより、効率的な執行ができた。</p>	
その他	「ふくいメディカルネット」の利用促進のためには、情報開示病院等での研修会が効果的であると判明したため、翌年度の事業の実施にあたっては、説明会の実施を行うこととする。	

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【NO. 5】 かかりつけ医の普及定着推進事業	【総事業費】 2,187 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井区域、奥越区域、丹南区域、嶺南区域	
事業の期間	平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	郡市医師会を対象とした説明会数 1 回/郡市医師会以上 中核病院を対象とした研修会 4 回以上	
事業の達成状況	郡市医師会を対象とした説明会数 延べ 8 回 中核病院を対象とした研修会 4 回 かかりつけ医普及のためのチラシ 6 万部作成	
事業の有効性と効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b></p> <p>地域医療構想の実現のためには、かかりつけ医の普及やふくいメディカルネットの活用等の県民理解が重要である。平成 27 年度は、まず患者と接する医師に対し説明会を開催することにより、ふくいメディカルネットの登録患者数の増加につながっている。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b></p> <p>県医師会に事業を委託することにより、医師会の既存の会議など様々な機会を活用し、地域医療構想を普及することができた。</p>	
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【NO. 6】 24時間の在宅医療強化事業	【総事業費】 3,000千円
事業の対象となる区域	福井・坂井区域、奥越区域、丹南区域、嶺南区域	
事業の期間	平成27年4月～平成28年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	訪問診療対応医師数 H24：300人 → H29：360人 訪問診療対応歯科医師数 H24：110人 → H29：160人 在宅医療利用者数 H24：4,000人 → H29：4,800人	
事業の達成状況	訪問診療対応医師数 H24：300人 → H27：300人 訪問診療対応歯科医師数 H24：110人 → H27：130人 在宅医療利用者数 H24：4,000人 → H27：4,774人	
事業の有効性と効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 新たに24時間在宅医療を行う訪問看護ステーションが4件増え、在宅医療に係る提供体制が強化された。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 初期費用を支援することにより、効率よく24時間在宅医療を行う訪問看護ステーションを増やすことができた。</p>	
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【NO. 7】 重症心身障害児者と家族のための在宅生活サポート事業	【総事業費】 6,863 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井区域、奥越区域、丹南区域、嶺南区域	
事業の期間	平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	訪問診療対応医師数 H24： 300 人 → H29：360 人 訪問診療対応歯科医師数 H24： 110 人 → H29：160 人 在宅医療利用者数 H24：4,000 人 → H29：4,800 人	
事業の達成状況	訪問診療対応医師数 H24： 300 人 → H27：300 人 訪問診療対応歯科医師数 H24： 110 人 → H27：130 人 在宅医療利用者数 H24：4,000 人 → H27：4,774 人	
事業の有効性と効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 在宅で療養する重症心身障害児者の一時受入れを行う施設の体制整備を行うことにより、在宅医療に係る提供体制が強化された。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 日中や短期入所で重症心身障害児者を受け入れる事業所のサービスを拡充することにより、効率よく環境を整備することができた。</p>	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO. 8】 医師確保研修資金貸与事業	【総事業費】 14,400 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井区域、奥越区域、丹南区域、嶺南区域	
事業の期間	平成 26 年 12 月～平成 29 年 3 月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	当事業により資金を貸与した医学生・臨床研修医数 H27：4 人	
事業の達成状況	当事業により資金を貸与した医学生・臨床研修医数 H27：4 人	
事業の有効性と効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 奨学金の貸与条例を改正した。県内での勤務を 3 年間義務づけるメニューを追加することにより、健康推進枠の奨学生に加え、さらなる医師確保ができた。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 地域枠の奨学金貸与生が地域医療に本格的に勤務するまで数年の期間を要する。医学部の 5、6 年生に貸与することにより、早期に地域医療に従事する医師を確保することが可能となった。</p>	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO. 9】 医師派遣支援事業	【総事業費】 7,200 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井区域、奥越区域、丹南区域、嶺南区域	
事業の期間	平成 26 年 12 月～平成 28 年 3 月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	当事業による医師派遣日数 H27：延べ 300 日	
事業の達成状況	当事業による医師派遣日数 H27：延べ 460 日	
事業の有効性と効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b>  医療法の改正により、特定機能病院のほか、地域医療支援病院、公的医療機関に医師派遣など医師確保に係る要請を行うことが可能となった（法第 30 条の 24）。このため、必要な補助金制度を作ることにより、医師派遣を促進することができた。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b>  地域医療支援病院など大きな病院に医師派遣の要請を絞ることにより、効率よく医師派遣を促進することができた。</p>	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO. 10】 がん専門医育成・医師派遣体制構築事業	【総事業費】 19,475 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井区域、奥越区域、丹南区域、嶺南区域	
事業の期間	平成 26 年 12 月～平成 28 年 3 月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	病理、がん薬物療法、放射線治療に係る研修医の確保 寄附講座において、専門医資格を習得した医師 H31：5 人	
事業の達成状況	病理、がん薬物療法、放射線治療に係る研修医の確保 寄附講座において、専門医資格を習得した医師 H27：8 人	
事業の有効性と効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 福井大学医学部で専門医を育成し、がん診療連携拠点病院等でも症例経験を積む体制を構築することができた。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> がん専門医に必要な症例等を効率的に経験し、資格取得を目指すことが可能となった。</p>	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO. 13】 がん診療施設設備整備事業	【総事業費】 58,080 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井区域、奥越区域、丹南区域、嶺南区域	
事業の期間	平成 26 年 11 月～平成 28 年 3 月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	がん診療に係る医師等の育成、およびがん診療連携拠点病院の機能強化	
事業の達成状況	がん診療に必要な設備を 2 病院に整備し、医師等の育成環境の充実を図った。	
事業の有効性と効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 放射線や病理医、その他がん診療に係る医師等の育成のために、剖検、組織診、細胞診などの症例検討や診療の研修に必要な設備を整備し、研修の充実を図ることができた。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 福井赤十字病院や福井県済生会病院に必要な設備を整備することにより、臨床研修医等を効率よく育成することが可能となった。</p>	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO. 16】 看護職員資質向上推進事業	【総事業費】 12,704 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井区域、奥越区域、丹南区域、嶺南区域	
事業の期間	平成 26 年 4 月～平成 28 年 3 月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	中小病院への出前講座を開催数 10 回/年 (10 病院) 看護管理者を対象とした研修、新人教育や看護方式に関するワークショップの開催数 5 回/年 参加人数 50 人/年	
事業の達成状況	中小病院への出前講座を開催数 28 回/年 (28 病院) 看護管理者を対象とした研修、新人教育や看護方式に関するワークショップの開催数 5 回/年 参加人数 70 人/年 (1 回平均)	
事業の有効性と効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b>  看護師の人数が少なく現場から離れることが難しい中小病院の看護師は、集合研修に参加することが困難な状況である。また、病院によって求めている研修内容が異なるため、出前講座を実施することにより、中小病院の看護職員の資質向上を図ることができた。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b>  看護部長や看護師長など看護師を管理する人を対象に研修を実施することにより、病院全体の勤務状況の改善や離職防止につなげることが可能となった。</p>	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO. 20】 薬剤師確保対策事業	【総事業費】 5,375 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井区域、奥越区域、丹南区域、嶺南区域	
事業の期間	平成 26 年 12 月～平成 28 年 3 月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	未就業の薬剤師登録数の確保 県内の薬剤師数 H24 : 1,369 人 → H29 : 1,400 人	
事業の達成状況	未就業の薬剤師登録数の確保 県内の薬剤師数 H24 : 1,369 人 → H26 : 1,453 人	
事業の有効性と効率性	<p>(1) 事業の有効性 薬剤師の県内就職や未就業薬剤師の就業促進に向けたホームページの作成やリーフレットを作成するなど、薬剤師確保に向けたツールを整備することができた。</p> <p>(2) 事業の効率性 県薬剤師会と県が連携し、情報発信ができた。</p>	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.22】 いきいき働ける医療の職場づくり支援事業	【総事業費】 3,630 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井区域、奥越区域、丹南区域、嶺南区域	
事業の期間	平成 26 年 12 月～平成 28 年 3 月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	医療分野の「雇用の質」向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き」の周知 H26:154 機関(病院および有床診療所) 看護師(常勤者)の離職率 H24:6.4% → H28:6.4%以下	
事業の達成状況	看護師(常勤者)の離職率 H24:6.4% → H26:6.3%	
事業の有効性と効率性	<p>(1) 事業の有効性</p> <p>医療法の改正により、医療機関の勤務環境改善が努力義務となった。このため、県医師会に医療の職場づくり支援センターを設置し、アドバイザーの派遣など医療機関が行う取組みを支援する体制を整備することができた。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p>運営協議会のメンバーに福井労働局、県医師会、県看護協会、県社会保険労務士会、医業経営コンサルタント協会が参加することにより、さまざまな観点から支援することが可能となった。</p>	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO. 23】 いきいき働くための医療施設改修事業	【総事業費】 76,414 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井区域、奥越区域、丹南区域、嶺南区域	
事業の期間	平成 26 年 12 月～平成 28 年 3 月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	看護師（常勤者）の離職率 H24：6.4% → H28：6.4%以下	
事業の達成状況	看護師(常勤者)の離職率 H24:6.4% → H26:6.3%	
事業の有効性と効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b>  県医師会の医療の職場づくり支援センターによる、アドバイザー派遣などソフト事業と併せ、仮眠室やナースステーションの拡充など施設改修の支援を行うことにより、有効性のある勤務環境の改善を行うことができた。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b>  努力義務となっている医療機関による勤務環境改善計画の作成を、施設改修支援の補助条件にすることにより、より充実した勤務環境改善につなげることができた。</p>	
その他		